



K.S.T  
課題解決型  
職場体験

教員・事業所向けガイド

【発行】佐渡市教育委員会  
2018年6月



学校の活動と事業所の活動に分けてご覧頂けます。  
学校と事業所の両方の視点で取組を見て頂くと分かりやすいです。

# Contents

- 佐渡市のキャリア教育 基本目標 ..... 1
- 佐渡市のキャリア教育 グランドデザイン ..... 2
- 佐渡の子どもたちに どんな大人に成長してほしい? ..... 3
- なぜ課題解決型職場体験を実施するのか? ..... 4
- 課題解決型職場体験の従来と違うポイント ..... 5
- 課題解決型職場体験の全体の流れ ..... 6
- ミッションの作り方 ..... 8
- 連携図と役割・年間スケジュール ..... 10
- 事前学習モデルプログラム ..... 12
- 生き方トークの作り方 ..... 13
- 当日のモデルプログラム ..... 14
- 事後学習モデルプログラム ..... 16
- 発表会モデルプログラム ..... 17
- 教科横断での取組の視点 ..... 18
- 行動評価基準表 (ルーブリック) ..... 19
- 生徒、先生、事業所の声 ..... 20
- Q&A ..... 21

**K.S.T** KSTとは、Kadai(課題解決型) Shokuba(職場) Takien(体験)の略称です。

佐渡市の基本目標

## 郷土愛を軸にしたキャリア教育の推進



キャリア教育とは一人一人の社会的・職業的自立に向け、  
必要となる能力や態度を育てることを通して、  
自分の役割を果たしながら自分らしい生き方の実現を目指す教育。  
本市においては、郷土愛を育み、  
本市に貢献しようとする人材の育成を目指しています。

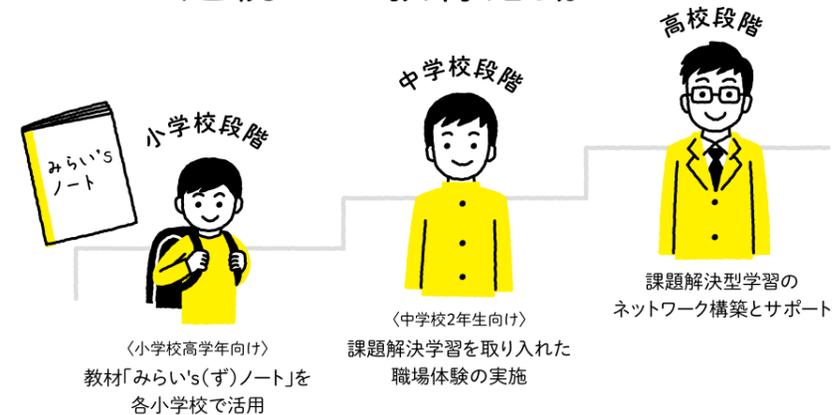
POINT  
1

### 郷土愛を軸に

佐渡の自然・歴史・文化への理解を深め、  
佐渡への愛着と誇りをもった児童生徒を育成するため、  
「佐渡学」を中核とした郷土学習への取組を推進しています。

POINT  
2

### 小学校から高等学校まで 連続した教育活動に



# GOAL!



### ★ 佐渡の未来を担う人 ★

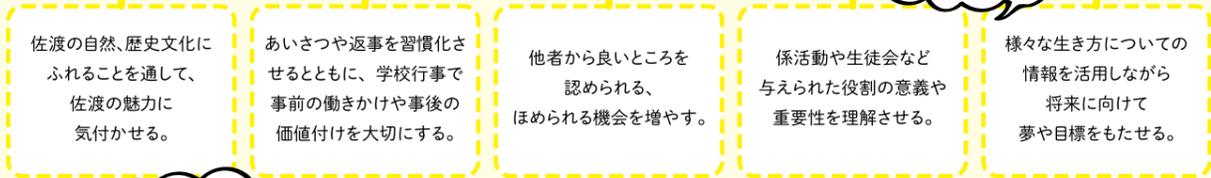
佐渡で成長し活躍する人  
佐渡に帰り心身ともに大きくなって活躍する人  
佐渡を外から支え応援する人

## 佐渡市学校教育における キャリア教育グランドデザイン

育てたい力と姿

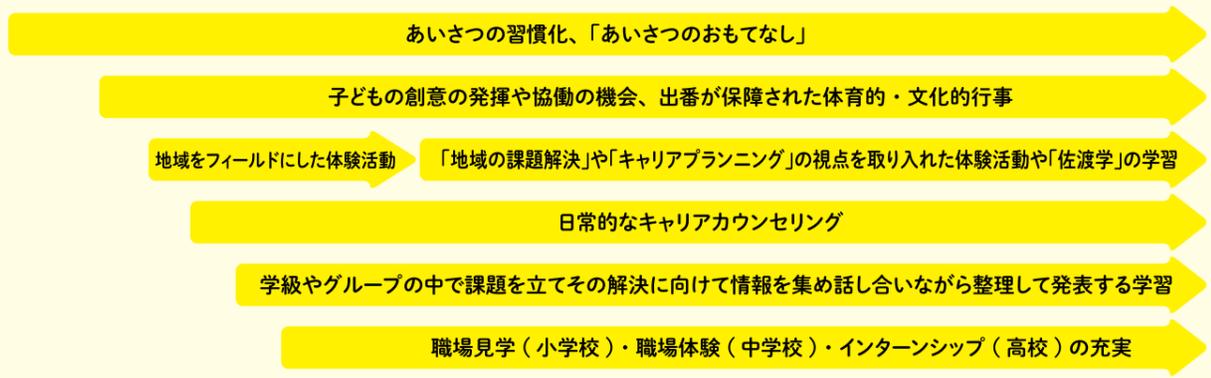


推進の視点



育てる過程

保育園・幼稚園・.....小学校.....中学校.....高等学校.....



連携のポイント



佐渡の未来を担う人三つの姿

- 佐渡で成長し活躍する人
- 佐渡に帰り心身ともに大きくなって活躍する人
- 佐渡を外から支え応援する人

佐渡市の目指すキャリア教育

一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要となる能力や態度を育てることを通して、自分の役割を果たしながら自分らしい生き方の実現を目指す教育。本市においては、郷土愛を育み、本市に貢献しようとする人材の育成を目指す。



キャリア教育イメージキャラクター「かんガエル」  
サドガエルの子ども。佐渡の田んぼで生まれました。

## 佐渡の子どもたちに どんな大人に成長してほしい？

### VOICE ワークショップの声

佐渡市教育委員会主催 キャリア教育学習会  
2017年2月21日、4月25日、6月21・22日より



感想

①今日の気づき・感想  
どんな大人に成長してほしいかと考えた時に、私自身か、そのような大人になれているのだろうかと考えさせられました。私は自分自身が、未来を担う子どもたちの道るべになれるような生き方をしなければならぬのだということか確認できました。

②子どもたちの成長のために職場体験を通じて出来ること・やってみたくて仕事の内容だけでなく、働く人の生き方を矢張りもらえよう。まずは自分で見つけてみる。

大人である私たちが率先して佐渡の魅力や素晴らしさを伝えていくことが大切だと感じた

学校も企業も想いは同じなんだと改めて思った



# なぜ課題解決型職場体験を実施するのか？

# 課題解決型職場体験の従来と違うポイント

理由

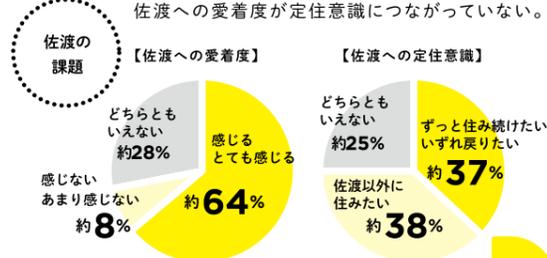
## 1 子どもたちの活用力や思考力を育てるため

- 佐渡の子どもたちの課題
- 習得より活用が苦手
  - 思考力や表現力がなかなか伸びない
  - 宿題はやるが、自身の課題をとらえて学習を進める姿勢が弱い

活用する力や思考力を育成するには、問題解決的な学習や体験的な学習を通して、「課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習」が必要

理由

## 2 佐渡市への定住意識を伸ばすため



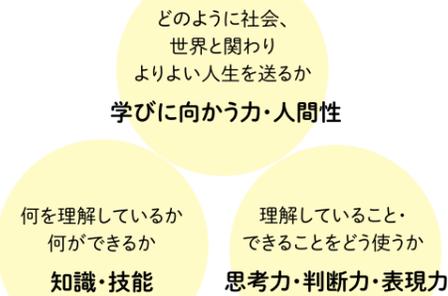
「社会を形成するのは自分たち」という当事者意識や起業家精神が乏しいため、佐渡においてイキイキと活躍する大人、課題解決をしている大人との出会いやつながりが必要

社会が大きく変化している今、全国的にも左記のような力を身に付けるべく、学習指導要領やカリキュラムが変わろうとしている。今後は、正解が一つでない課題を探究し、納得解・最適解を見付ける経験を重ねることによってその力を伸ばせたい。

「探究」を経験させるのは教師にとって容易なことではない。そこで、**実社会に存在するリアルな課題を解決する探究活動を地域や企業と協働でつくる**ことが必要

理由

## 3 探究的な活動を通して、社会で求められる力を育成するため



課題解決型職場体験で目指すこと

課題解決型で探究的な学習の充実を図ることで生徒の社会参画への意欲や当事者意識を高めるとともに、関わった大人からのフィードバックをもらうことで自己のキャリア形成と関連付けながら学習に対する意欲を高める。

今後佐渡において、地域と学校の協働で目指すこと

学校と地域が子どもの育ちのために「こうしよう」「ああしよう」と腹を割って言い合える関係づくり

- ▶▶ 地域でどのような子どもを育てていくのか、どのような地域をつかっていくのかというビジョンの共有
- ▶▶ 地域と学校の協働の取組を積み重ね、大人も子どもも学び続ける地域の形成
- ▶▶ 主体的、当事者意識をもった担い手の育成とあらゆる世代が一体となった地域活性化の実現

Point

1

## 仕事と佐渡とのつながりを実感できる

従来の職場体験では、勤労観・職業観を知ることが主な目的でしたが、課題解決型職場体験では、3つの段階の「価値観」を生徒の中で実感させます。佐渡で働く大人がどのような思いや情熱をもって働いているのか、そして、仕事を通して、佐渡の課題解決や地域活性に貢献しているかを生徒に肌で感じてもらい、仕事を通して、佐渡を見直す機会とします。

地域観  
社会観

- 地域社会はどのように成り立っているか
- この地域や社会が直面している課題はなにか

人生観

- 人はどんな価値観で生きているのか
- 生きがい、やりがいとはなにか

勤労観  
職業観

- どんな仕事があるのか
- 働くとはどういうことか

Point

2

## 課題解決のために全体を知る

仕事の一部ではなく、全体を伝えます。仕事を知るための作業ではなく、課題を発見し、解決するために必要な体験や調査をします。目標に応じて、実際の仕事を観察する「シャドウイング」や実態を把握するための「ヒアリング」なども必要に応じて取り入れていきます。

Point

3

## 仕事の醍醐味を実感する

仕事の大変さだけでなく、面白さ、醍醐味を感じるように工夫します。「いつかこの仕事に就きたい」と思うような憧れの気持ちや「仕事って大変だけど、それを乗り越えると面白いんだ」という実感をもって、将来に希望を抱いて職場体験を終えるようにします。

	従来の職場体験	課題解決型職場体験
学びの内容	仕事の一部	仕事の全体（プロセス）
	仕事を知るための作業・体験	課題を発見し解決するための実体験
	仕事の大変さ	仕事の面白さ・醍醐味
学びの姿勢	受身的	主体的

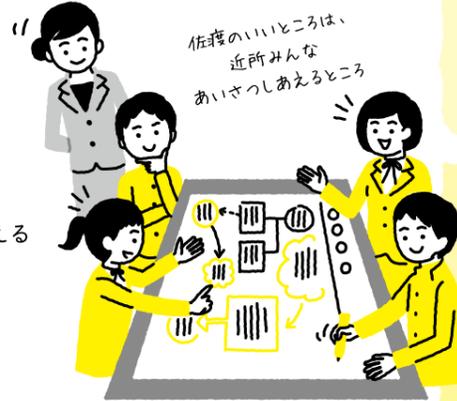
課題解決型職場体験全体の流れ

学校

事業所

【事前学習】

- ①佐渡の良さや課題について考える
- ②体験先の事業所や業種について調べ学習をする
- ③体験先の事業所や業種の課題を予測をする
- ④職場体験で聞いてみたい事など、インタビュー項目を考える
- ⑤マナー講習を実施する



事前学習

生徒 × 事業所の マッチング

【生徒 × 事業所のマッチング】

- 生徒の興味関心や能力を配慮しながら、課題解決型職場体験のグループづくりをする

事業所の 受入準備

【オリエンテーション授業】

- 体験先のゲストを招いた授業 (生き方トーク・しごとトーク) を実施する →詳細は P12 へ
- ミッションについて、「知っていること、知るべきこと、思いついたこと」を出し合う
- 課題解決型職場体験で挑戦したいことを書き出す



オリエンテーション授業 (生き方トーク・しごとトーク)

【送り出し / 受入の最終確認】

- 事業所までの交通手段や持ち物などを確認する

送り出し / 受入の 最終確認

【職場体験当日】

- 各事業所の様子を見学、撮影をする →詳細は P14-15 へ

職場体験当日

【事後学習】

- 中学生提案に向けてミッションに対する提案・企画を考え、ポスターを作成する
- 中間発表をクラス内で実施して、お互いのグループの評価をし合う →詳細は P16 へ



事後学習 (中学生提案の作成)

【発表会】

- 発表練習を実施する
- 事業所の方を招いた発表会を実施する (1 学年も参加できると来年度の活動がイメージできてよい) →詳細は P17 へ

発表会

【生徒 × 事業所のマッチング】

- 学校ごとの職場体験のねらいや生徒の情報を事前研修で受け取る
- ミッションの構想を練る →詳細は P8 へ

生徒に自分で考え行動させてほしいです



【受入準備】

- 事前研修で得た情報を基に、ミッションや職場体験当日プログラムの概要を決める →詳細は P14-15 へ
- 職場体験当日の担当者や役割分担を決め、事業所内で共有化する
- 生き方トーク・しごとトークの内容の検討や練習をする →詳細は P13 へ
- ミッション発表の際の仕事の説明資料やミッションの背景にある課題を説明するための準備を進める

【オリエンテーション授業】

- 生き方トーク・しごとトークをする
- ミッションを発表する →詳細は P12 へ



【職場体験当日】

- 中学生がミッションを常に意識しながら、中学生提案に向けた様々な体験ができるよう環境を整え、見守る →詳細は P14-15 へ

【発表会】

- 発表会に参加する
- 生徒に対してフィードバックをする →詳細は P17 へ

中学生提案を取り入れ、本格的に商品開発を進めたいなあ!



# ミッションのつくり方

MISSION

## ミッションをつくる時のポイント

1. 企業・団体にとって普段課題となっているモノゴトをテーマに
2. とはいえ、中学生が理解できる範囲で
3. ミッションやそれを考える過程で社会の流れや課題などが見えてくる
4. 子どもたちの創造性やオリジナリティが発揮でき、実現する可能性がある
5. 3日間で何にどのように取り組むか（ゴール）を明確に

### 例) アイマーク環境の場合

1. 廃棄物の削減や、市民への環境意識の啓発が課題
2. 市民への環境意識の啓発について、中学生ならではのアイデアは出してもらえそう
3. 実際にゴミ収集の現場を見れば、ゴミの量やマナーの現状が実感してもらえそう
4. 「スポーツゴミ拾い」の企画の一部を子どもたちに任せたら新しい発想ができそう
5. 「スポーツゴミ拾い」の参加者を増やすための方策を子どもたちと一緒に考えよう

ミッション

廃棄物の仕事を通じて、  
佐渡らしさのある  
「スポーツゴミ拾い」を  
企画しよう

## ミッションの系統とミッション例

- Mission A 人に対するミッション**  
プロとして人と関わる、ケアする視点を学びながら、  
相手がよりよくなるようなプログラムを考える  
例：ケアセンターうしろやま「〇〇さんのケアプランを考えよう」  
吉井保育園「運動遊びプランをつくって園児と元気に遊ぼう」
- Mission B ものづくりミッション（形に残る商品をつくる）**  
中学生らしい発想で新しいものをつくる  
例：しまや「しまやのお菓子の新しいパッケージを考えよう」  
新潟メンテック「2018年トキマロン完走メダルのデザイン試作品を制作しよう」
- Mission C 企画系ミッション（無形のものを新たに生み出す）**  
良さを理解して、付加価値や新しいアイデアを生み出す  
例：佐渡博物館「金銀山を楽しく伝える小中学生向けのクイズやパンフレットをつくろう」  
伊藤建設「地域を支える建設業の重要性を知ってもらう企画を考えよう」
- Mission D 発信系ミッション（すでにあるものを活かす）**  
認知度を向上させ、魅力を知ってもらうために、発信する  
例：フレッシュマツヤ「今日のおすすめ商品のPRツールをつくろう」  
佐渡テレビ「課題解決型職場体験を番組にしよう」

クイズやキャラクターを  
考えてみよう

生徒は、職場体験を終えると、職場体験のまとめをするのではなく、  
事業所からもらったミッションに対する「中学生提案」を作成します。

職場体験中は、ミッションに対する提案のために  
課題の背景を知り、具体的な体験を重ね、心も体も動かしながら過ごします。  
提案のためのたくさんの材料を持ち帰らせてください。

職場体験の中で、すでに中学生提案が出来上がったら、  
学校での事後学習に活かせるような発展課題（右図の6を参照）を投げかけてください。

クイズやキャラクターを  
スポーツゴミ拾い以外にも活かして、  
佐渡のゴミ削減の提案をしてほしいな



## 6 発展課題

課題に立ち戻り、  
中学生提案に向けた  
期待を伝える

## 7 中学生提案づくり

## 8 発表



学校へ

## 5 プロの フィードバック

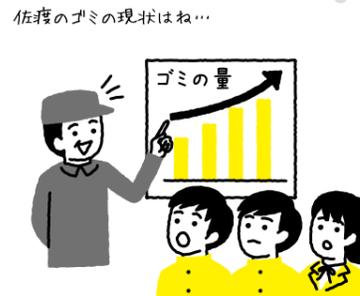
プロの目線で足りない視点や  
既にある事例などを伝える

ステキなキャラクターが  
できたね

START!

## 1 課題の認識

課題の背景に対する説明



佐渡のゴミの現状はね…

ミッション

廃棄物の仕事を通じて、  
佐渡らしさのある  
「スポーツゴミ拾い」を  
企画しよう

## 2 現状把握

体験を通して仕事を捉える



地域によって  
ゴミの現状も違うね

## 4 小さなトライ

中学生のアイデアを  
実際に形にしてみる、  
もしくは実行をしてみる



スポーツゴミ拾いで  
何が出来るかな

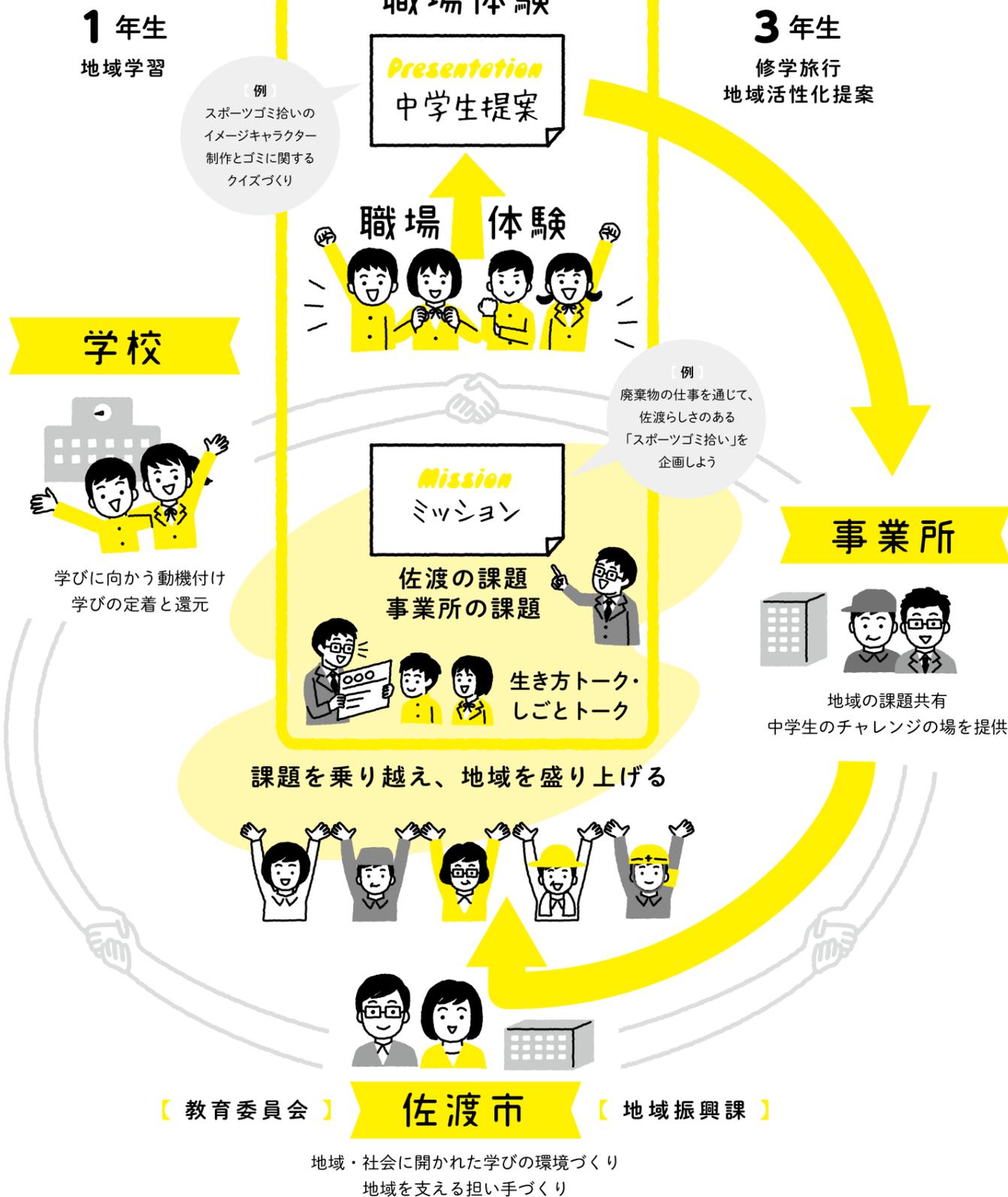


## 3 課題解決の アイデア

体験を通じ、ミッションに対して  
中学生ならではのアイデアを考える

教育委員会／学校 / 事業所の連携図と役割・年間スケジュール

Schedule



	佐渡市 (教育委員会/地域振興課)	学校	事業所
12月~	新規受け入れ事業所の開拓		
1月	事業所への依頼	課題解決型職場体験実施日の決定	受入の検討
2月	課題解決型職場体験 教員&事業所向け学習会 ●課題解決型職場体験 学校&事業所の事例発表 ●ワークショップ「佐渡の子どもたちにどんな大人に成長してほしいか」		
3月	受入リストの作成	受入事業所の確認	
4月	課題解決型職場体験 教員向け研修① ●課題解決型職場体験で伸ばしたい資質・能力の検討 ●学校ごとに事前事後学習のプランニング		
5月	～ 学校×事業所のマッチング ～ 課題解決型職場体験 教員向け研修② ●課題解決型職場体験 事前事後学習モデルプログラムの体験 ●学校ごとに事前事後学習の相談		
6月		事前学習の実施① 佐渡の良いところ/課題	
		～ 生徒×事業所のマッチング ～	
7月~	課題解決型職場体験 教員&事業所研修 ●ミッションの検討 ●受入生徒の情報共有 ●課題解決型職場体験当日プログラムの検討		
9月	遠方の体験先に対する交通手配	事前学習の実施② 職場体験先についての事前調べ	ミッションの設定
	受入プログラムの確認	事前学習の実施③ マナー講座	受入プログラムの作成
			生き方トーク・しごとトーク準備
8月~	課題解決型職場体験 オリエンテーション授業 ●生き方トーク・しごとトーク ●ミッションの発表		
10月	交通手配について最終連絡		
	課題解決型職場体験 当日		
		事後学習の実施 ●中学生提案の作成 ●発表練習 ●中間発表 ●ブラッシュアップ	
9月~	発表会		
11月	学校及び事業所へのヒヤリング	振り返り(自己評価)	実施アンケートの記入
	実施報告、引き継ぎ資料の整理	引き継ぎ資料の整理	振り返りとプログラムのブラッシュアップ
		学校だより等で成果の発信	

事前学習

オリエンテーション授業のモデルプログラム

50分×2コマ

目的

職場体験先で働く人が、日々どのように仕事をしているのか、またどうしてその職業についてのか等を聞くことで、働くことに対する意識を高め、自分は職場体験で何を学び・どう活かすのか考える姿勢を養う

1 Game 導入ゲーム 10分

「本気ジャンケン」

中学生とゲストが立ち上がり、自由にジャンケンをし合う。勝ったら本気で喜び、負けたら本気で悔しがらる。3人に勝利した人から順に、全員で1つの円をつくるように並ぶ。

「キャッチ」

円の状態で、右手の人差し指を、右隣の人の左手のひらに乗せる。「キャッチ」という掛け声で、左手は掴み・右手は逃げる。全員で集中力を高めるゲーム。



緊張をほぐし、和やかな雰囲気をつくる

2 Talk 生き方トーク 30分

職場体験先のゲストの元へ移動し、円をつくる。

●生徒の自己紹介

(名前、ニックネーム、部活、好きなもの・こと)

●ゲストの自己紹介

(うそつき自己紹介) 3つの自己紹介文を伝え、どれが嘘であるかを生徒に当ててもらう。

POINT  
ちょっとしたクイズを挟むなど、生徒とコミュニケーションをとりながら話を進めるとGOOD!

●ゲストより「生き方トーク」(15分)

→詳細はP13へ

●感想記入、質問タイム



4 Group work グループワーク 40分

「ミッションについて知っていること、知るべきこと、思いついたこと」

- グループごとに3つの項目について模造紙に意見を書き出す。
- 各自の職場体験での目標・意気込みを共有する。



3 Mission しごとトーク 20分 (ミッションの発表)

●事業所概要の説明

●事業所、もしくは業界として課題となっていること

例) 観光客の数が減ってきている ※具体的な数値があると良い

●課題解決型職場体験のミッションの発表

●3日間を通じて学んでほしいこと、期待すること

●3日間の体験内容の説明、体験における諸注意

POINT  
自社パンフレット、実際の仕事道具などを見せながら話す。服装はいつもの仕事着で



生き方トークの作り方



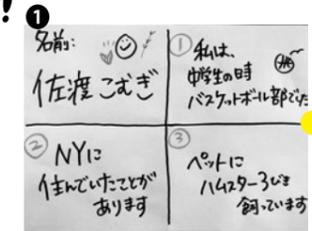
作成の手順

- これまでの人生を振り返り、子どもたちに伝えたいこと、今の仕事につながるエピソードを整理する
  - 以下の6つの項目を中心に、A4用紙やスケッチブックに要点を書き出す
- …当時や現在の様子がいイメージできる写真やイラストがあると分かりやすい

1 導入

POINT!

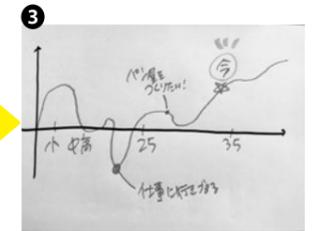
- 自己紹介で生徒との距離を縮める(共通点が見つかる、親近感が湧く)
- 紙芝居の大きな流れを伝える



うそつき自己紹介「①から③で、どれがウソだと思いますか?ウソだと思う番号に手をあげてください。①、②、③。正解は、③がウソです!」  
・それぞれの自己紹介文にまつわるエピソードを簡単に話す



「学生時代の写真です。同じくバスケット部の人、いますか?」  
「おお、一緒だね」

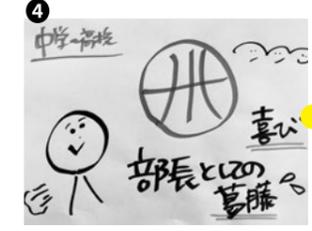


人生チャート〜これまでの歩み〜  
「私はこれまで、こんな人生を歩んできました。今日は主に、今の仕事につながる出来事についてお話しします」

2 学生時代の印象的な出来事、乗り越えてきたこと

POINT!

- 成功体験だけでなく、失敗したことや当時の悩み、それをどう乗り越えたかについて話す



「中高時代は、バスケット部の部長。大好きなバスケットができる喜びを感じつつ、先生とチームメイトの意見の板挟みに合い、葛藤する日々でした!」  
「具体的には、〜(エピソード)」



「高校2年のある日、先生に怒られて落ち込みながら帰っていると、通学路に美味しそうな匂いが...ふらりとパン屋さんに入りました」



「店主のおじさんが、落ち込んだ自分に話しかけてくれて、普段の部活での出来事や葛藤を聞いてくれたんです。はじめて誰かに悩みを打ち明けられて、すく楽になりました。その時は、自分もいつか人に安心感を与えられる人になりたいなって思いました」

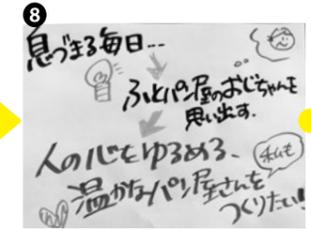
3 今の仕事に就いたきっかけ

POINT!

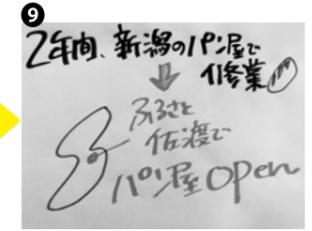
- 自分の行動により気づいた、仕事をする上で大切にしていきたい価値観について話す



「でもその思いはだんだん忘れてしまい、大学に進学し、当時興味があったファッションを仕事にしたい、都会で働いてみたいと、東京のアパレルメーカーに就職し6年間働きました!」  
「当時は〜(エピソード)」



「息がつまる毎日を送っていた中、ふとあるパン屋さんに入った時にすく心がホッとして。高校時代のパン屋のおじさんのことを思い出したんです!」  
「そうだ、やっぱり私は人の心をゆるめる、温かなパン屋さんをつくりたい!と思いました」

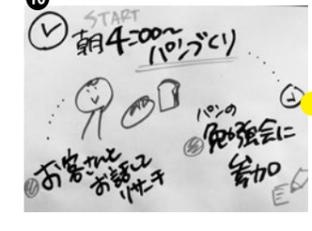


「2年間、新潟市内のパン屋さんで弟子入りし、技を磨きました。昨年、ふるさとの佐渡でパン屋を開業しました!」

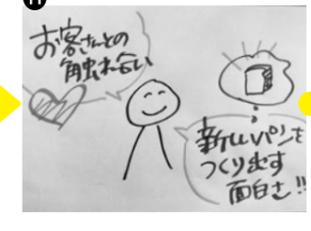
4 仕事の内容や役割  
5 仕事の面白さ、やりがい  
6 佐渡で働く良さや可能性

POINT!

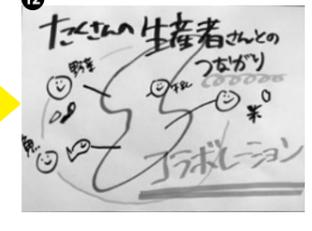
- 仕事のやりがいや醍醐味に加え、佐渡で働く魅力・可能性、今後の展望などについて最後に伝える



「朝4時から仕込みをし、パンを焼いています。お客さんとお話したり、勉強会に参加しながらより美味しいパンのアイデアを探るのも仕事です」



「自分がしてもらって嬉しかったように、お客さんとじっくりお話しする時間が好きです。パンを買いに来るだけでなく、気軽におしゃべりに来てくれるのも嬉しい!」



「佐渡は、たくさん生産者さんがいます。そんな仲間とコラボレーションして、佐渡の魅力伝える、佐渡にしかない美味しいパンをつくりたいと思っています!」

GOAL!

当日のモデルプログラム

初日

職場の人との関係性をつくる & 仕事の全体像を捉える

9:00

オリエンテーション

- お互いの自己紹介…分からないことを聞いたり、何かあったら気軽に相談したりしてもよいことも伝え、リラックスした雰囲気をつくります。
- スケジュール確認…体験全体の見通しがもてるように流れを説明します。

9:30

事業所の概要説明

事業所の歴史や理念、佐渡や業界における役割について理解を促します。

10:00

事業所内の見学

見学をしながら、仕事の全体像を伝えます。  
誰のために、どんな方法でサービスを提供したり、ものをつくらしているのか?など、それぞれの仕事の位置付けや意義についても触れてください。

12:00

昼食

- なるべく他の職員らと同じタイミング・場所で昼食を食べます。
- 緊張をほぐしながら、お互いにコミュニケーションをとります。

13:00

しごとの基本作業①

その仕事を知る上で基本となる作業を体験します。  
なぜ基本なのかなど、作業の目的や他の作業との関連についても伝えます。

15:00

ミッションの再確認

ミッションの解決に向けて、2日目で必要となる情報収集のポイントを整理します。

16:00

ふりかえり

1日目を終えてみて、生徒に感じたこと・驚いたこと・気づいたことなどを中心に聞きます。取り組む態度や姿勢に対して、率直に感じたよかったことなどをフィードバックします。

今日のCHECK!

- 中学生と職場の関係性づくりに取り組めた
- 仕事の全体像とミッション解決に必要な基本情報を伝えられた

2日目

学校によって実施日数は異なります

仕事にチャレンジ & ミッション解決に向けた情報収集

9:00

オリエンテーション

今日の仕事の流れや目的を確認します。生徒の体調や心持ちにも配慮します。可能ならば、朝礼や朝の業務にも参加します。

9:30

しごとの基本作業②

1日目の発展となる作業や、難しさも実感できる体験をします。  
失敗したり、分からないことがあっても、自分で改善策を見出せるようサポートします。

例とある高齢者介護施設での体験

Mission【ミッション】

利用者の〇〇さんに楽しんでもらえる、体操メニューを考える

\*緊張していたけど、優しく迎え入れてもらってホッとしたのよーし、頑張るぞ!

\*なるほど、知らなかったなあ

★ポイント:「お年寄りの方に、どんな言葉かけをしていると思う?」など、生徒に考えさせる質問をするのもよい

\*ふむふむ。たくさんメモを取るぞ!

\*色々な人が関わること、仕事って成り立っているんだな

\*こんな方たちがここで働いているんだのよし、名前と顔を覚えて!

【介護施設の場合】  
「お年寄りの方と一緒に、タオルたたみ」「〇〇さんの好きなものヒアリング」

\*お年寄りの方は、普段どんなことに困っているんだろう?

体操メニューをつくるために、もっと知りたいことについて意見を出す

\*新しい発見ばかりだったな〜のミッションをより意識して、明日も頑張るぞー!

少し慣れてきて、利用者さんに挨拶ができた!

【介護施設の場合】  
「機能訓練(リハビリ、体操)に参加し、利用者さんのフォローをする」

\*どうしてリハビリって必要なんだろう?

\*効果的なりハビリの動きって何だろう?

\*認知症はどうやったら予防できるんだろう?

13:00

ミッション解決に向けた情報収集

事業所の職員や、お客さん(利用者さん)へのインタビュー等を通し、自分たちに必要な情報を集めます。

15:00

情報の整理

情報収集により見えてきたこと、気付いたことを整理します。  
もう一歩必要な視点をヒントとして伝えるなどのフォローをします。

16:00

ふりかえり

新たに気づいたこと、自分の中での学びなどを中心に聞きます。  
最終日のチャレンジに向けての期待やメッセージを伝えます。

今日のCHECK!

- ミッション解決に必要な情報を、多様な角度から収集できるようフォローできた



\*いつもどんなことに気づいて体操メニューを作成しているんですか。

\*利用者さんの表情や言葉をもっと注意深く見ないと。介護士さんのヒントのおかげで、やることが見えてきたぞ!



\*ミッションへの理解が深まったぞ。なんだか良いアイデアが浮かびそう! 明日に向けて家で考えてみよう。

最終日

ミッション解決に向けたアイデア出し & ブラッシュアップ

9:00

オリエンテーション

今日の仕事の流れや目的を確認します。これまでの情報収集の内容を職員にも共有し、どんな視点や体験が必要かアドバイスをもらいます。

9:30

しごとの基本作業③

今まで体験した作業、やや難しい作業を体験します。  
体験したことのある作業の場合は、作業効率が上がったか、作業への姿勢が変わったか、ミッションに関する考察はされているか、などに注目します。  
やや難しい仕事では、困難なことでもチャレンジしてみることの大切さ、学んだり工夫したりすればできるようになることなど、意義を伝えます。

11:00

ミッション解決に向けたアイデア出し

これまでの体験や情報収集をふりかえり、ミッション解決に向けたアイデア出しを行います。  
暫定的に、提案(プラン)をつくらせるところまで、取り組みます。

13:00

ミッション解決の提案(プラン)の実施

作成した提案(プラン)に実際にトライしてみます。

15:00

提案(プラン)についてのフィードバック

生徒の提案に対して、良いところやもう少し考えを深めてほしい点をフィードバックします。  
実際に提案(プラン)を試してみ、足りない部分や改善が必要な点を生徒自身に気付かせます。

16:00

ふりかえり

職場体験を終えてみて、全体の学びや自分の中での変化などを中心に聞きます。  
提案についての評価と、さらに考えを深めてほしい点(発展課題:P9参照)を伝えます。  
ミッション解決に向けた応援メッセージ、今後の人生や進路に向けた言葉を送ります。

今日のCHECK!

- 実際にアイデアを実践し、ブラッシュアップの視点を与えられた
- 3日間を振り返っての学びを共有できた



\*今日のお散歩タイムに同行して良いと言ってもらえた! 利用者さんにたくさん話しかけるぞ!

\*お散歩タイム中に、勇気を出して沢山の利用者さんとお話してみても、どんな時に嬉しい気持ちになるか、困っていることは何か、教えてもらったぞ! 利用者さんのためになる体操メニューをつくりたい!

\*こんな体操メニューだと、喜んでもらえるんじゃないかな!



\*私たちが考えた体操メニューで、身体を動かしてくれている。感激!

\*実際にこの体操メニューを試してもらったら、喜んでもらったけど、足の不自由な利用者さんは大変そうだったな。もっと工夫してみよう。

\*もう終わっちゃったのかーさみしいな。ここでの3日間の経験を基に、ミッション発表会に向けてもう少し考えてみたい!

## 事後学習

中学生の提案ポスターづくり授業のモデルプログラム

50分×2コマ

### 目的

課題解決型職場体験をふりかえることを通して、  
学んだことや成長したことを意識化するとともに、  
ミッションをふりかえり、よりよいミッションの解決策を練り上げる。

## 1 Orientation オリエンテーション

「職場体験のライドショー」 15分  
各事業所でどんな体験してきたのか、  
写真と担当  
生徒のコメントで振り返る。



## 2 Game フリップゲーム 10分

「職場体験で印象に残っていること/道具/言葉は?」  
それぞれお題について、  
A4用紙にプロッキー  
で書き出し、フリップ  
のように掲げる。ペア  
になり記入した内容と  
それにまつわるエピソードを共有する。



## 4 Meeting 発表会までの スケジュール確認と 作戦会議 15分

- 発表会の概要と当日までのスケジュールを確認し、見通しをもたせる。
- グループごとにポスターのブラッシュアップ & 発表練習の作戦会議をする。

## 3 Planning 中学生提案 ポスターの作成 60分

下記を参考にポスターをつくる。  
時間があれば、それぞれのグループの  
ポスターを見合い、感想や質問を伝え  
更なるブラッシュアップを行う。

**POINT**  
職場体験の日報や  
資料を見返すことを  
忘れずに! 必要であれば  
インターネットや本などで  
追加情報を調べる

### Point!

#### ★ 中学生提案ポスターづくりのポイント

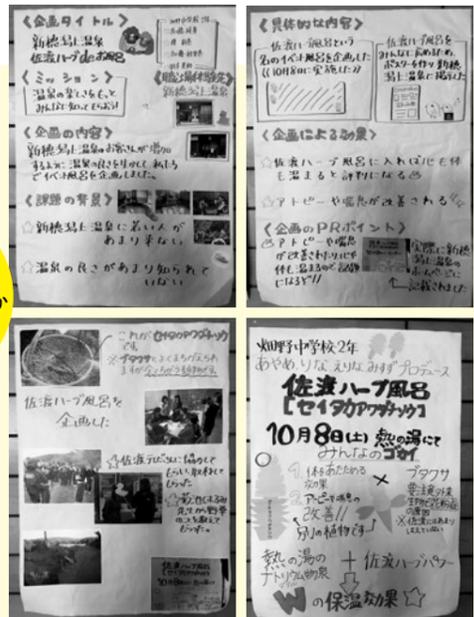
職場体験の内容をふりかえり書き込むだけではなく、  
ミッションに対しての提案と更にブラッシュアップした点、  
工夫したところを記入する。

〈ポスターに盛り込む内容案〉

- 訪問先の正式事業所名、メンバーの名前
- ミッション
- ミッションの背景
- ミッションを解決するために行ったこと・工夫したこと
- ミッション解決に取り組んでみて新たにでてきた課題
- 仕事をする上で大切だと思ったこと
- 仕事を通して、うれしかったことや褒められたこと
- 事前学習から職場体験を終えるまでの感想

**POINT**  
絵や写真を使用し、  
具体的に何をやったか  
記入する

写真入りで  
丁寧に  
説明する



## 発表会

事業所を招いた発表会のモデルプログラム

50分

## 1 Game 導入 10分 「集合ゲーム」

ゲストと中学生の  
交流を促し、  
緊張をほぐします。



お題(血液型、誕生日、好きな食べ物など)を  
提示し、同じ回答の人で集まります。  
最後のお題でできたグループ内で、簡単な自己紹介をします。



## 2 Presentation

### 発表タイム 25分 「プレゼンタープレゼン」

グループで作成した中学生提案ポスターを  
ポスターセッション形式で発表します。

グループの中で、プレゼンする人  
(プレゼンター)を3人決めます



**POINT**  
クイズやインタビューを  
入れたり、  
聞きに来てくれた人を  
巻き込みながら  
楽しんで発表できると  
GOOD!



事業所の方と、  
プレゼンター以外の  
メンバーは、  
他のグループの  
発表を聞きに行きます



プレゼン5分(+質問タイム3分)×3回  
(プレゼンターは毎回交代)

## 3 Feedback 10分 「質問・心を込めたアドバイス」

プレゼンを聞いたグループに  
コメントを書いた付箋を貼りに行きます。



### フィードバックのポイント

- 事業所の仕事内容をよく理解した上での提案になっているか?
- ミッションが達成できる提案になっているか?
- じっくりと丁寧に考えた成果が感じられる提案になっているか?
- 大人が考えないような、中学生らしい、今までにない提案になっているか?
- 堂々と伝わりやすい話し方で発表していたか?

## 4 Review ふりかえり 5分

フィードバックを受け取ったら、  
自分たちのプレゼン内容を振り返り、  
事業所の方から提案を受けてのコメント  
(ミッションの達成度、事業所としての次への展開、  
これから中学生へ期待すること)、メッセージをいただきます。



### Point! ★ 発表会のポイント

- 事業所の方から生徒のミッションに対する提案(企画)について、率直な講評や感想をいただくと、生徒の励みになったり、双方向で課題を考えるよさが期待できたりします。
- 中学校の文化祭で発表することで、お世話になった事業所の方だけでなく、地域の方にも活動を発信・交流する機会にもなります。
- 体験した2年生の発表を、1・3年生も一緒に聞くと、来年度のイメージが湧き、後輩へアドバイスすることで互いの成長につながります。



# 教科横断での取組の視点

課題解決型職場体験をより充実させるためには、  
普段の教科や行事での学びとの往還が必要です。

教科での学びを活かす機会として、課題解決型職場体験をとらえ、できることから連動させていきましょう。

	総合的な学習の時間	国語科	社会科	技術・家庭科	学級活動・道徳	学校行事	各教科	その他行事・イベント
事前学習	●職業調べ ●職場調べ (職業レポート)		【地理】 「中国・四国地方」 ●四国の課題や町おこしを踏まえて、佐渡の課題を考える	【技術分野(情報)】 ●検索の仕方	【道徳】 「勤労」「郷土愛」 ●グループ活動 ●ホワイトボードを使って考えをまとめる		●グループ活動のスキルトレーニング	
事業所マッチング		●インタビューの仕方	●職場体験先の業種に関する新聞をスクラップする		●マナー講座(あいさつや言葉遣い、礼法)			
事前ミーティング(事業所との対面)					●レクリエーション ●自己紹介の工夫			
受け入れ準備								
職場体験当日								
事後学習	●ポスター作り ●発表原稿作り ●中学生提案の発表練習 ●大学生(地域創生学部)との交流、意見交換	●発表原稿作り ●発表の仕方	●職場体験先で感じた社会課題に関する新聞スクラップと発表	●写真加工	【道徳】 「遵法精神・公德心」 ●情報リテラシー ●個人写真の扱い ●情報の引用の仕方		●発表原稿のまとめ方 ●ポスター作成	
発表会		●ポスターセッションの進め方 ●ポスターセッションを活かすためのルール				●文化祭での総合発表会(ポスターセッション)	●プレゼンテーションのスキルアップ	
その後の活動	●高校生(佐渡総合や佐渡中等など地域活動実施の生徒)との交流、意見交換		●佐渡の良いところと課題を再確認しよう ●地域おこし協力隊の講話 ●佐渡の地域活性化案を考えよう		●「佐渡の10年後の伸ばしたいところ&手を打ちたいところ」をまとめる	●修学旅行(企業・先輩・偉人・大学等)での訪問	●佐渡に学ぶ芸術・学習発表会での発表(市教委)	●佐渡レシコンテスト(地域振興課)への応募 ●佐渡地区スピーチコンテスト(将来の夢)への参加 ●佐渡再発見、職業体験(市P連、地域振興課)への参加



# 課題解決型職場体験のための行動評価基準表(ルーブリック)

記入日：事前 月 日  
事後 月 日

① 普段の自分の行動や、課題解決型職場体験の活動を、自分自身で振り返りましょう。  
A～Dの当てはまる場所にチェックをして、チェックをつけた理由を書いてください。

評価基準	A	B	C	D
1 主体性 あなたはどれだけ自ら進んで行動を起こせましたか?	●活動の目的や状況を判断して、自分の意思をもって、率先して行動することができる。 ●自分の役割だけでなく仲間の役割もフォローするなど、状況に応じた貢献をすることができる。	●活動の目的や状況を理解して、与えられた役割に責任をもち、行動することができる。 ●言われなくても、自分のできることを探し、一生懸命に取り組むことができる。	●自ら考え、行動することは難しいが、言われたことを理解し、行動することができる。 ●言われたことや自らの役割は果たすが、進んで行動することが難しい。	●言われたことを受け止め、周囲の友達と共に行動できる。 ●ほとんど友達に任せて、自ら進んで行動をとり、役割を果たしたりすることが難しい。
	事前 <input type="checkbox"/> 理由:	<input type="checkbox"/> 理由:	<input type="checkbox"/> 理由:	<input type="checkbox"/> 理由:
事後 <input type="checkbox"/> 理由:	<input type="checkbox"/> 理由:	<input type="checkbox"/> 理由:	<input type="checkbox"/> 理由:	<input type="checkbox"/> 理由:
2 チームワーク あなたはどれだけ協力して取り組みましたか?	●他のグループのモデルになるような、協力的な取り組みができる。 ●常に集中し、チームワークを大切にしながら効果的に作業ができる。	●グループが協力しあって、取り組める。 ●メンバー全員が参加し、チームワークが発揮できるように働きかけることができる。	●グループとして協力して取り組めているが、集中できない時もある。 ●積極的に取り組める場面とそうでない場面があり、グループに貢献しきれていない。	●グループにほとんど協力できていない、他のメンバーに任せきりになってしまっている。 ●メンバーの意見を大切にすることができず、どのように取り組んだり、行動したりしたらよいのかもわからない。
	事前 <input type="checkbox"/> 理由:	<input type="checkbox"/> 理由:	<input type="checkbox"/> 理由:	<input type="checkbox"/> 理由:
事後 <input type="checkbox"/> 理由:	<input type="checkbox"/> 理由:	<input type="checkbox"/> 理由:	<input type="checkbox"/> 理由:	<input type="checkbox"/> 理由:
3 やり抜く力 あなたは困難や挫折を味わっても、粘り強く、諦めずに取り組みましたか?	●自らの意志で目標を明確にもち、より高みを目指し、困難にぶつかっても、諦めずに努力を続けることができる。	●目標をもって、粘り強く取り組むが、一定の成果があると、それ以上の努力はしない。	●取組の意義を理解し、自ら取り組みようとするが、困難にぶつかると、あきらめてしまう場合がある。	●取組の意義は理解できるが、自ら取り組みようとする、取り組みでもあきらめてしまう。
	事前 <input type="checkbox"/> 理由:	<input type="checkbox"/> 理由:	<input type="checkbox"/> 理由:	<input type="checkbox"/> 理由:
事後 <input type="checkbox"/> 理由:	<input type="checkbox"/> 理由:	<input type="checkbox"/> 理由:	<input type="checkbox"/> 理由:	<input type="checkbox"/> 理由:
4 課題解決力 あなたは、課題と向き合い、どれだけ課題解決の方法を真実に考えられましたか?	●課題に対して、背景や求められていることをとらえ、いろいろな角度から考えることができる。 ●独創的で新しいアイデアを出したり、多様な方法を考えたりすることができる。	●課題解決に向けて一生懸命考え、アイデアを出したり、方法を模索したりすることができる。	●課題に対して、自分なりに考え、アイデアを出すことができる。	●課題に対して、何を考えたらよいかかわらず、アイデアも浮かばない。
	事前 <input type="checkbox"/> 理由:	<input type="checkbox"/> 理由:	<input type="checkbox"/> 理由:	<input type="checkbox"/> 理由:
事後 <input type="checkbox"/> 理由:	<input type="checkbox"/> 理由:	<input type="checkbox"/> 理由:	<input type="checkbox"/> 理由:	<input type="checkbox"/> 理由:
5 佐渡への当事者意識 あなたは佐渡や社会に対して、どれだけ誇りや当事者意識をもてましたか?	●佐渡に誇りを持ち、佐渡の良さや課題を伝えることができる。 ●いつか佐渡の課題を解決したり、佐渡全体を良くする活動に関わったり、佐渡の発展に役立ちたい。	●佐渡に誇りを持ち、良さや課題をもつことができる。 ●いつか地域の課題を解決し、地域の活性化を担ってみたい。	●佐渡のことは好きだが、人に良さや課題を伝えることは難しいと感じる。 ●地域の活性化は願っているが、自分ができるかどうかはわからない。	●佐渡があまり好きではない、良さは感じていない。 ●佐渡に関わりたいたとは思わないので、早く島から出たい。
	事前 <input type="checkbox"/> 理由:	<input type="checkbox"/> 理由:	<input type="checkbox"/> 理由:	<input type="checkbox"/> 理由:
事後 <input type="checkbox"/> 理由:	<input type="checkbox"/> 理由:	<input type="checkbox"/> 理由:	<input type="checkbox"/> 理由:	<input type="checkbox"/> 理由:

② 自分を自己評価してみて、気づいたこと、感じたこと、次に向けて活かしていきたい事について自由に書いてください。

事前	
事後	

職場体験をして、

## 仕事の大変さがわかったと同時に 楽しさもわかりました。

僕たちは、「新商品をつくる」というミッションのもとで、「どうしたら若い人に興味をもってもらえるだろうか」と悩みながらパッケージをつくったり、味見をしたりしました。

3日間という短い期間だったので大変でしたが、自分たちの考えた商品が売られることが決まり、達成感と喜びでいっぱいです。



Student

生徒の

職場体験でたくさんの人が私たちを担当してくれ、丁寧に教えてくれました。シリコーンの特徴を生かした商品を自分たちで考え、たくさん意見が出ました。考えたものが形になるというのはとても嬉しかったです。メンバーと教え合い、考えることは素晴らしいことだと改めて思いました。

Office 事業所の

声!!

先生の

Teacher

生徒の発想力、ひらめき、行動力が長けており驚きました。また、弊社に入社したいと言ってくれた時はとても感動しました。



若い視点での情報発信方法を見ることができたので勉強になりました。

人の話をよく聞くことで世界が広がっていくと感じました。  
生徒さんを見習い頑張りたいです。



生徒の企画を実現させようと考え動いてくださる事業所と連絡を取り合っています。イベントで終わらずに、継続的なかわりを事業所と持てることは、学校にとってありがたいことだと感じています。



事業所が地域で課題だと思っていることを、人とつながり、かわることから生徒に知ってもらうことができました。課題の解決がビジネスチャンスにもつながると思うので、中学生をはじめ、様々な分野の方々とのかかわりを大切にしていきたいと思っています。



Question

Q1

ミッションをつくることは、どんな効果やねらいがあるのですか？



Q&A 事業所・先生の疑問に答えます

A1

Answer

ミッションをつくることで中学生の主体性と課題解決力を育てます

~~~~~

従来の職場体験では、作業を中心に、中学生ができる範囲でお手伝いをしてきました。しかし、課題解決型職場体験では、あらかじめ事業所から「ミッション」を提示され、中学生はミッションに応える提案をすることを目標に、職場体験期間を過ごします。中学生は主体的に考え行動することができ、仕事の面白さや醍醐味を理解する中で、中学生ならではの新たなアイデアを提案する機会が生まれます。

Question

Q2

課題解決型職場体験のための十分な時間を確保する余裕がありません。



A2

Answer

教科や学校行事と関連付けることも可能です

~~~~~

総合的な学習の時間だけでなく、教科の時間と連動させることもできます。例えば、

- 英語の時間と連動して、自己紹介や職場体験で發揮したい得意な事を整理し伝えられるよう練習する
  - 道徳の時間と連動して、自分の将来の姿を思い描く
  - 社会の時間と連動して、職場体験に行く業種について調べ学習をする
- 詳細は P18 へ
- など、教科の時間を活用しながら、職場体験の事前事後学習を進め、短時間でも深い学びをつくり出せるよう工夫しましょう。

Question

Q3

課題解決型職場体験を受け入れる事業所のメリットはありますか？



A3

Answer

社内の人材育成の機会として活用

~~~~~

中学生の目線に立って、職場体験を企画・実施することは、社内の人材育成にもつながります。特に入社5年目ぐらいまでの社員が中心となり、ベテラン社員がフォローアップすることで、わかりやすく仕事を伝えるプレゼンテーション能力や、体験を組み立てる企画力をつける若手社員教育の場にもなります。

長い目で見た人材採用やファンづくりへ

~~~~~

長い目で見た人材採用の機会とも言えます。佐渡の子どもたちに、会社の存在や魅力を知ってもらえば、いつかこの会社に入りたいと就職時の選択肢になったり、将来のお客様=ファンになったりもします。実際に、課題解決型職場体験を経て、「この会社に将来就職したい!」と言ってくれた中学生もいます。

# 課題解決型 職場体験

教員・事業所向けガイド



発行 佐渡市教育委員会  
企画・制作 NPO法人 みらいずworks